



北海道駒ヶ岳カッコーイ!



紅葉がキレイ



雲の影が模様のように



ホテルの部屋には大きな窓が



露天風呂



部屋の窓からの眺め

函館大沼 (北海道) 2007.11

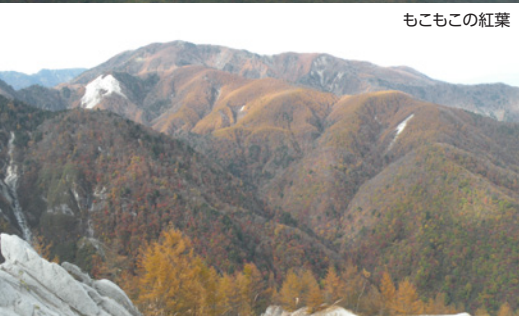
眺めの良い函館大沼プリンスホテルに泊まりたくて、はるばる北海道にやって来ました。しかし窓の外はゴルフ場で、実は自然ではないのだけど(笑)。パンフレットでは綺麗に見えた露天風呂も何だか裏庭みたい。夕食はベーコンを巻いたステーキ(?)で焼き方も悪くマズかったのを覚えています。この旅行ではあくまでも大沼公園を歩いただけですが、終りかけの紅葉と駒ヶ岳の眺め、それだけでもお腹いっぱいでした!

写真写り悪いけど...
ほんとにほんとにキレイなの♪



常に人気の日向山(山梨)ですが、実は私も登ったことがあるのよーん。この時利用した尾白川溪谷へのバス路線、今は廃止されたようですが、あればもっと気軽に行けるのになあ。バス停から矢立石まではそこそ急で、熊も出そうで怖かったです。矢立石からは紅葉も美しく、順調に山頂へ、そして例のアノ場所に到着! 砂浜のような斜面はズリ落ちそうで怖く、ほとんど動けなかった私。みんななんで平気なの? 私は斜めの道が怖いのです。山登りに向いてない?

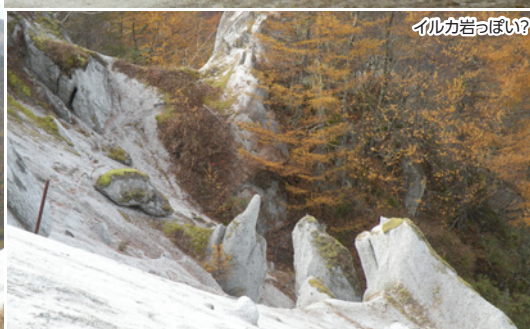
日向山 (山梨県) 2011.11



もこもこの紅葉



ハケ岳



イカ岩のぼい?



怖くて歩けなかった

突然連載 今月のアテレコ登山

私の兄(無名の凡人)から提供された証拠写真を元に、私が勝手にアテレコするコーナーです。山の名前はあえて言いません。果たしてこの山は何处…? さあ、アナタも一緒に山に登りましょう!



1 某駅からバスで登山口へ。男性比率が高くトイレには列が。登山前にお腹をスッキリさせるのは最重要事項だ。



2 さっそく登り始める。平日なのに登山者が多い。標識もあるが確認するまでもなく人についてけばよさそうだ。



3 やっと山道っぽくなる。背中の荷物は重く、山男気分全開だ。意外に傾斜があり見た目より疲れるが大丈夫。オレは山男だ。



4 いったん車道に出たら、迷ってしまったのは内緒さ。すぐに真の登山口に到着、いよいよ本当の山登りが始まる…



5 異常なほど歩きやすい道を進む。北岳に行くこうしてやめた俺には朝メシ前のレベルさ。何の問題もない。



6 水場の先の広場でランチとする。実はオレも固形燃料派だ。しかも缶詰のタイプだ。なんとなくワイルドだ。



7 紅葉もチラホラ見られたが、全体的には大したことがなかった。どっちにしろへバツてきたから見とれる余裕はないさ。



8 妹からLINEが来てた。歩いてるのに返事出来るかよ。「今木の橋を渡った所だ」と言ったが通じなかった。



9 これは妹が言っていた例の木か? 「1本だけぽつんと生えてるからすぐわかるよ」と言っていたからきつとこれだろう。



10 なんかく赤くて綺麗だなぁ。テン場はもうすぐだ。長いだけで地味な道だったな。オレ的には余裕で歩けた。



11 富士山が綺麗だ。この山行で初めて感動した気がする。あとはテントを張って寝るだけだ。メシも食うがな。



12 妹に「ロープの長さのバランス悪すぎ」と指摘されたが「うるせえ」と言ってやった。どうでもいいじゃねえか。



13 タメシは肉だ。やっぱり肉を食わにゃアカン。肉さえ食えばパワーアップだ。肉は神だ。肉はウまい。



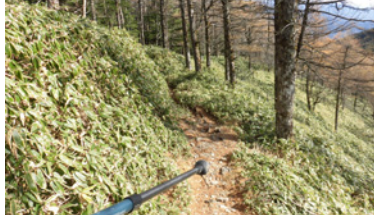
14 朝はカレーだ。今回のオレは完璧なキャンパーだ。テントもダウンも妹の借り物だがオレは完璧だ。



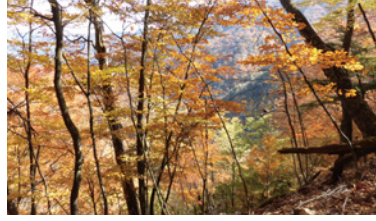
15 快適な道を順調に進む。そこそこ人はいるが、これが土日だと渋滞するらしいからやはり平日が一番だ。



16 とうとう山頂だ。大量に自撮りしたが非公開とする。下りはひと味違うT新道を利用するところがオレ流。



17 歩きやすすぎるT新道だが、他の登山者には会わず孤独を楽しんだ。一度だけ道を外して迷いかけたのは内緒さ。



18 何気に紅葉が綺麗だ。実は意外とアブない道もあったが、山男がひるむはずもない。全然余裕さ。

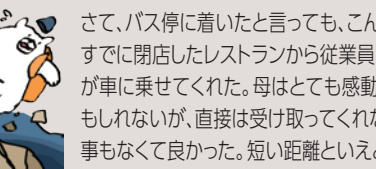


19 橋を渡った。なんか楽しいので動画を撮ってしまったが、別に田舎者ではない。それにしても人がいないなあ。



20 林道に出てからも美しい深谷美が見られた。もうすぐバス停だ。早く来年になって、北岳に行きたいなあ。

週刊実話 日没遭難



さて、バス停に着いたと言っても、こんな時間にもバスはない。バスどころか人っ子一人、車一台走ってない。すると、タイミング良く、すでに閉店したレストランから従業員の方が出て来たので、「すいません、タクシー呼んでもらえませんか?」とお願いすると、親切な女性が車に乗せてくれた。母はとても感動し、子供が家で待っているという彼女のために、五千円札を車にそと置いて来た。失礼だったかもしれないが、直接は受け取ってくれなかったのである。送ってもらった最寄り駅は非常に小さく、昭和な曲がかかっていた。とにかく、何事もなくて良かった。短い距離といえど、3時半に出発など言語断である。この時の恐怖は、今でも私と母の語り草になっている。(完)



今月のQuiz
この貼り紙はどこ(山・山域等)にあるでしょう?

編集長から一言

Missing. 今、とても行きたい山がある。名前は言えないが、愛しさと切なさで心細さが同居する、とても思い出深い山だ。おそらく一生忘れることのない、あの山。そう、私が急な腹痛に耐えきれず、お花摘みをした山に。ヤマケイ文庫「く・ねる・のぐそ」に触発されたわけではないが、私は会いたい、己のブツに。無事に山のこやしとなりましたか? あの時、私は無我夢中だった。周りの景色はどうでしたか? 下界は見えた? 登山道からは、本当に見えない場所だった? 確かめたい。今すぐに。しかし、そんな私のセンチメンタル・ジャーニーのために、むやみに登山道を外れるわけにはいかない。I love you 叶わないものならばいっそう忘れたいの忘れられない全てが~I miss you 許されることならば~なんて久保田利伸のマネをして、この道を駆け出して会いにゆきたい

*先月号の答えは2ヵ月連続で三股登山口(蝶ヶ岳・常念岳)でした!

